

おをふるいぬ
「を」と「お」の読み書き

- 1) まず、読ませること。すらすら読めるまで。
- 2) なぞり書き。
- 3) かつぎの「を」再度説明すること。
- 4) 犬はどんなときに尾をふるのか、「猫が顔を洗う」とはどんなことかかなどを話題にするといひ。

- a) 「を」と「お」の使い分けと、ひらがなの書き方とにむむ。
- b) 筆順の意識。
- c) 文字を連なって語をつくり、文を綴る体験。

特定用具: 不要
Date:



よんで みよう。
かいて みよう。

ね	あ	か	い	ふ	お
こ	ら	お	ぬ	る	を
う		を			

④(4)JJJへ